

2016 年度北海道 Y M C A 事業方針・計画

方 針

公益団体としてその理念を表現している「北海道 Y M C A ミッションステートメント」、「Y M C A の願い」、「キャラクター・ディベロップメント」は、Y M C A が果たすべき使命と実現すべき願い、そして実践すべき価値を表わしており、すべての事業・プログラムはこれらを反映していなければならない。この「使命・願い・価値」に照らしながら、2016 年度は、設置法人の公益財団法人移行 3 年目となり、過年度に修正・変更作業した会員組織としての会則を施行し、会務を円滑に推進することに努める。また、各部・ブランチとともに事業構造の変革へ向けた取り組みを継続する。特に札幌ブランチは、会館の老朽化に伴い、将来計画の検討が必要になっており、検討委員会を立ち上げ、具体的な作業を開始する。さらに、全国 Y M C A と協働して進めている Y M C A ブランドの見直しを継続し、特に広報ツールの見直しを図る。変更会則の施行に伴い、会員運動の担い手となる維持会員、支援者となる賛助後援会の増強を図るとともに、国際協力募金を含む新たな年間寄附金活動を計画化する。

計 画

I 公益目的事業

1. ウェルネス事業（健康教育活動：公益目的事業 1）

（1）スポーツ活動

- ①従来の価値伝達型プログラムに加え、課題解決型プログラムの展開に向け、担当指導者の研修を実施し、Y M C A ウェルネス指導者資格の取得を推進する。
- ②担当スタッフの交流・研修を促進し、ブランチ間のプログラムの質的な差を是正する。
- ③チャイルドケアプログラムに総合性を付加するプログラムを意図してデザインする。
- ④札幌成人フィットネス会員を核に、文化教養系プログラムを含む中高年対象総合的プログラムへの転換を進める。
- ⑤札幌成人フィットネス会員の増強を目指し、施設（ロッカールーム）の整備を図る。

（2）地域支援活動

- ①地域の小学校と連携し、水の安全教室の出前授業を継続するとともに、実施校の拡大を図る。
- ②各ブランチで、地域の課題解決を図る公開講座を企画・実施する。

（3）野外教育活動

- ①日常野外活動を通じてユースリーダーを育成し、ウェルネス指導者資格の取得を推進する。
- ②チミケップキャンプの企画をオール北海道の視点から刷新する。
- ③ブランチ間共同のキャンプ、スキープログラムを企画・実施する。

（4）リーダーシップ育成活動

- ①ユースリーダーを育成するための募金を年間寄附金活動に位置付け実施する。
- ②ウェルネス指導者資格等、ボランティアリーダーに対する Y M C A 内部資格の付与を積極的に推進する。
- ③スタッフの育成、担当者間のネットワークづくりを目指し、Y M C A 全国関連会

- 議・研修にスタッフを積極的に派遣する。
- ④シニアボランティアの活動領域を拡大し、増強を図る。
 - ⑤事業別課題の解決、新規プログラム開発を目指し、ブランチ横断的な事業別担当者会を組織する。

2. 国際理解・国際協力事業（公益目的事業1）

（1）国際交流活動

- ①昨年度20周年を迎えたベトナムでの教室建設プロジェクトを引き続き継続する。
- ②シンガポールYMCAスキーツアーの受け入れを継続し、交流プログラムの開発を目指す。
- ③ICCPJによるチミケップキャンプリーダーの受け入れ、日本語短期留学コースへの参加、ワイズメンズクラブのパートナーシップ締結など、関係性の深まりつつある台湾地域との交流プログラムの可能性を調査する。

（2）語学教育活動

- ①2歳児から小学生までのチャイルドケア事業の実習を中心として、一貫性のある英語教育刷新計画を立案し、実施する。

3. 青少年支援事業（公益目的事業1）

（1）幼児保育活動

- ①各ブランチの保育事業が、子育て支援新制度にどのように連携可能か継続して調査する。
- ②保育の質的維持を目指し、札幌幼稚舎の保育環境（トイレ）を整備する。
- ③とち帯広ブランチの事業・運営体制の安定化に向け、送迎体制の整理を図るとともに、将来計画の検討を開始する。
- ④保育の質的維持を目指し、北見保育園の保育環境（会館LED化、屋外プール更新）を整備する。

（2）アフタースクール（学童保育）活動

- ①送迎のリスク管理を十分にしながら、外注化の可能性を調査する。
- ②地域の課題解決のため、各ブランチ拠点開発の可能性を調査する。

（3）発達支援クラス（障害児クラス）活動

- ①札幌児童デイサービスの土曜開所を実施する。
- ②ブランチでの児童デイサービス事業所の開設を調査・研究する。

（4）幼児・小学生等文化教養活動

- ①幼少年プログラムに加え、成人会員の増強を意図し、成人対象プログラムを企画し、成人フィットネスとの連携を図る。

（5）専門学校

- ①専門学校の将来を見通し、英語コミュニケーションコースの募集継続について検討する。
- ②付帯事業としての日本語学習短期留学コースを全国のYMCAとの協働により増強する。

Ⅱ 収益事業

1. その他の事業

(1) 介護保険サービス事業及び障害者福祉サービス事業

①介護事業の将来計画についての検討を継続する。

(2) 貸館、物品販売、自動販売機手数料等事業

①駐車場、物販等について、増収策を検討する。

Ⅲ 管理部門

(1) 法人業務

①過年度来、変更作業を行った会則を施行し、会務を円滑に推進する。

②札幌ブランチ将来計画委員会（仮）を設置し、札幌ブランチの将来像について検討を開始する。

③日本YMCA同盟と歩調を合わせ、YMCAブランドの見直しを継続する。特にホームページ、パンフレット、チラシ等、広報ツールの見直しを図る。

④会員運動の担い手となる維持会員、賛助後援会の増強を図る。

(2) 北海道大学YMCA、ワイズメンズクラブとの協働

①会員運動の担い手となるリーダーシップの発掘を進める。

(3) 東日本大震災支援活動

①東日本地区YMCAと連携し、可能な支援を継続する。